

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年12月14日（木）

### 2 確認箇所

3号機原子炉格納容器ガス管理設備（3号機タービン建屋）

### 3 確認項目

3号機原子炉格納容器ガス管理設備の運用状況

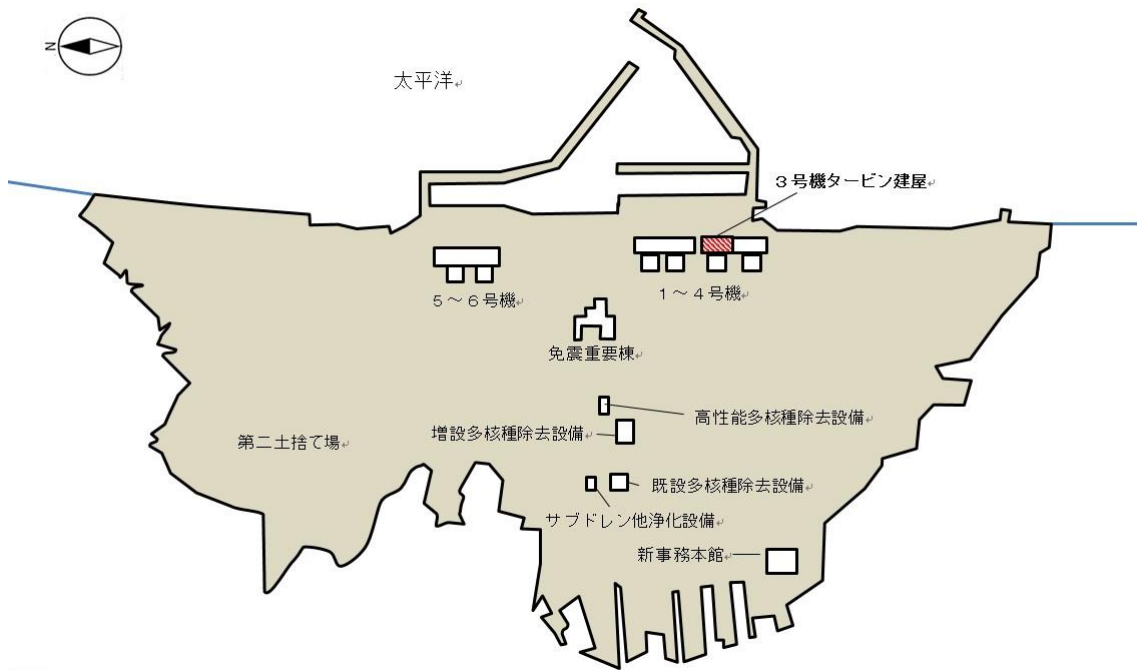
### 4 確認結果の概要

原子炉格納容器（以下「PCV」という。）内は、窒素封入設備により、配管の腐食や水素ガスの滞留などを防止するためにPCV内部へ不活性ガスである窒素を封入し、周囲から空気がPCV内部に流入しないように内部を正圧に保っている。また、PCVガス管理設備により、放射性ダストを除去するフィルタを通して排気するとともに、PCV内部の水素濃度、放射性希ガス濃度等を測定、監視している。

本日は、排気側の設備であるPCVガス管理設備の運用状況を確認した。

（図1）（前回確認：[令和3年11月2日](#)）

- ・3号機PCVガス管理設備の一部（PCVガス管理設備現場制御盤、ダストモニタ、希ガス放射線モニタ、ダストモニタ吸引ポンプ等）は、塩害対策のため、ハウス内に設置されており、また、当該ハウスには塩害対策ハウス用送風機が設置されていた。（写真1）
- ・ダストモニタ吸引ポンプは、金属製の囲いで覆われ厳重に管理されていた。（写真1-6）
- ・重要計器類を常時監視できるよう遠隔監視カメラが設置されていた。（写真2）
- ・ハウス外には放射性ダストを除去するフィルタユニットが設置されており、被ばく低減対策として鉛遮へい板で覆われていた。（写真3）
- ・ハウス内PCVガス管理設備について、目視の範囲内で破損等は見受けられなかった。
- ・PCVガス管理設備による監視パラメータを確認したところ、PCV内の水素濃度、酸素濃度、ダスト濃度及びキセノン濃度に異常はみとめられなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
3号機タービン建屋内塩害対策ハウス入口の状況



(写真1-2)  
塩害対策ハウス用送風機の設置状況



(写真1-3)  
PCVガス管理設備現場制御盤の設置状況



(写真1-4)  
ダストモニタの設置状況



(写真1-5)  
希ガス放射線モニタの設置状況



(写真1-6)  
ダストモニタ吸引ポンプの設置状況



(写真2)  
遠隔監視カメラ



(写真3)  
フィルタユニットの設置状況

#### 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。